

新春日部

発行
日本共産党
春日部市委員会
春日部市粕壁東
6丁目7-12
電話 748-5159
FAX 748-5179

暮らしを守る温かい市政に

日本共産党市議団が予算要望

11月14日、日本共産党市議団は、2026年度予算編成にあたり、市民要望を最優先にと、岩谷市長に予算要望書を手渡し、懇談しました。

昨年までの要望のうち、高齢者補聴器購入補助や学校体育館のエアコン設置が実現し、今回は「リサイクルショップの現地存続」「粕壁南公民館存続」など、新たな要望を加えて312項目の要望を取りまとめたものです。

「取り入れられるものは取り入れたい」と市長



懇談では、「生活保護申請時に当面の生活費に困窮する人に対しては、保護費の一部を前払いしてほしい」「春バスが縮小されて通院や買い物

に困っている人がたくさんいる。人口の少ない地域にバスを走らせるのは効率的でないので、他市で実施している乗り合いタクシーのように、タクシー業界にも恩恵があるデマンド交通の導入をぜひ検討してほしい」「教育センター再整備に際して、市民が利用しやすいものすると同時に、生涯学習の機能を充実してほしい」「こども・若者計画が全面的に実践されるために、官民を問わずこどもと関わる機関では「こどもの意見表明権」など、こどもの権利に関わる研修を市の責任でおこなってほしい」「リサイクルショップの移転について、計画を作る際に利用者には相談がなく、パブリックコメントに『移転は困る』といった当事者としての意見を何人も書いたが、全く取り入れられず、不信を招いている。利用者や地域の住民の方と一緒に考え直すべ

きです。市政全般についても市民の声を生かす市政であってほしい」と、議員がそれぞれ要望しました。

市長からは「要望が多岐にわたるので改めて精査し、取り入れられるものについては取り入れていきたい」という回答でした。

市民の声に真摯に向き合うべき

市長との懇談でリサイクルショップの移転について「春日部はなぜ、事前に利用者、当事者に説明や相談がなく、市が決めたことに市民を従わせようとするのか」「もっと市民の声に真摯に向き合うべき」と、あらためて要望し、市長は「従来からのやり方が踏襲されているが、ていねいに進めるよう指示します」と話しました。



日本共産党が市議選予定候補者を発表 1議席増5議席の市議団へ

日本共産党春日部市委員
会は、2026年4月12日
告示、19日投票の市議会議
員選挙に現有4議席から1
議席増の5議席の市議団確
立をめざし、予定候補者を
発表しました。

大野とし子(現)



1957年吉川市生まれ
県立浦和第一女子高等学校、
立教大学文学部卒業

うづき武彦(前)



三郷市立小学校教諭30年
市議会議員4期東中野在住
活動地域Ⅱ庄和地域

1962年山梨県生まれ

信州大学理学部卒業

春日部サンハイツ管理組合

元理事長

25年市長選立候補

市議会議員7期 小淵在住

活動地域Ⅱ幸松地域、粕壁、

緑町、備後

松本ひろかず(前)



1952年浅草生まれ

早稲田大学社会学部卒業

春日部市小中学校教諭29年

市議会議員5期 小淵在住

活動地域Ⅱ豊野、内牧、

小淵(一部)

坂巻かつり(前)



1956年春日部市生まれ

岩槻商業高校、東海大学短

期大学部電子工学科卒業

自営業、農業

増富東地区自治会事務局長

市議会議員2期八丁目在住

活動地域Ⅱ豊春・中央地域、

八丁目五丁目

角田たえ子(新)



1951年群馬県生まれ

群馬大学教育学部卒業

越谷市立小学校教諭38年

新日本婦人の会春日部支部

長 21年市長選立候補

大場在住

活動地域Ⅱ大場、大枝、

武里団地、一ノ割

休日の当番医

市立医療センター TEL735-1261(夜間毎日、土・日・祝日)内・外科系 小児救急電話相談 #7119

12/7(日)つちだクリニック(内科系)一ノ割1726TEL733-2900 宇野クリニック (小児科系)

粕壁1-6-5TEL760-3711 佐藤整形外科(外科系)大場1385-3TEL731-4550

12/14(日)脳神経内科・内科もてぎ医院(内科系)中央8-8-9TEL737-5151 春日部在宅診療所ウ

エルネス(小児科系)内牧3701-1TEL792-0772 ようこ皮膚科(外科系)大沼2-62-24TEL612-3555